

YSK(横浜市建築設計 協同組合)、当組合 立体駐車場を建築診断

共同施設として350台収容できる立体駐車場は、今年で築28年となりますが、施設の老朽化に伴う劣化、天井材の部分落下が続き、建物自体の「健康状態」が日々悪化をたどっていることから、組合ではYSK(横浜市建築設計協同組合)に建築診断を依頼しました。2ヶ月にわたる詳細調査の結果、外観上は大きな問題はわかりにくい状態であるが、細部の調査を行

お知らせ

◆新規組合員紹介 (持分譲受加入)

令和2年9月28日付け加入
○社名/亨亨(フエンシヤン)
フード株式会社
代表者名/代表取締役 王成文
資本金/900万円
従業員数/17人
扱い商品/食品加工業(中華調味料、中華点心)

◆新規準組合員紹介

令和2年9月1日付け加入
○社名/株式会社武居商店
代表者名/代表取締役 武居正則
資本金/2,000万円

うにつれ、シーリングの劣化をはじめ亀裂や鉄骨のさび、ALC板の劣化などが随所に見られ、早急に修繕を行わないとさらに傷が深くなるという報告がありました。理事会では、この調査結果を受け、この提言に沿って大規模修繕工事を行うため設計業務を引き続きYSKに委託しました。次年度に立体駐車場の大規模修繕工事を実施する予定です。
なお、同駐車場のエレベーターの更新は、一部部品の生産中止を受け、先行して昨年修復を終えています。

◆社名及び代表者変更

令和2年7月1日付け変更
○新社名/バイタルエア
ジャパン株式会社
(旧社名/相互産業株)
兼CEO 高橋英明
(旧代表者/真田一実)

◎MDCアウトレット セール開催予定

11月28日(土)午前10時 各出店企業
及び組合会館前 屋外テント
12月19日(土) 同
1月23日(土) 同

組合の災害対策

連携事業継続力強化計画を中小機構へ申請

最近の大災害は、東日本大震災を筆頭に、度重なる台風や豪雨による被災を始め、現在の新型コロナウイルスによる感染症など、被災することを前提にしないと事業活動が成り立たない状況をもたらしています。

様々な要因により、こうした災害が起こりますが、企業の地域集合体である当団地の場合は、まずどのような災害が発生するのかを想定し、災害が事業活動に与える影響が何なのかを捉え、脆弱性を発見して企業と組合の連携により、どのようにカバーするか、企業の事業継続力の強化につなげるかが問われています。

当組合は、こうした災害に備え平成21年度から同25年度にかけて、地震津波を想定したBCP(事業継続計画)推進事業に取り組み、「震災被災後の重要業務の早期回復目標」に重点を置いた企業におけるマニュアルづくりや団地内の災害に対応した避難場所の設定、組織対応を図ってまいりました。しかしながら、昨年(令和元年度)9月の台風15号による風水災害や現在進行中の新型コロナウイルス

組合日誌

13	14	18	21	23	28	29	8	10	16	17	18	24	25	27	29	2	5	8	9	10	14	15	16	18	30				
定例理事会	京浜警備保障と防犯カメラの件打合せ	ファンタスティックスと研修事業の件打合せ	県中央会と就業規則改訂の件打合せ	MDCアウトレットセール	社長会総会(書面での開催)	通常総会(書面での開催)	組合会館配電盤設備移設工事(～14日)	三役三委員長会議	横浜MDCゴルフ会	営業力レベルアップセミナー	最新ITセミナー	パーソルテンプスタッフと打合せ	立体駐車場消防点検実施	MDCアウトレットセール	連棟所有者向け再整備に関する説明会及び高度化資金貸付利用に関する説明会実施	YSK立体駐車場防水工事に伴う調査実施	最新ITセミナー	組合会館害虫駆除作業実施	三役三委員長会議	定例理事会	商団連次世代の会(オンライン会議で実施)	コーチング研修	中小企業基盤整備機構とBCP連携計画の件打合せ	立体駐車場及び組合会館スポットライト設置工事	営業力レベルアップセミナー	団地内統一清掃	横浜エージェンシーと社長会定例会の件打合せ	MDCアウトレットセール	平地駐車場入り口ゲート交換工事

編集

後記

■コロナ禍により、私たちの機械工具商社業界は実際、売上高は昨対比7割程度になっている工具商社が数多くあります。
■要因は工作機械の受注減並びに自動車生産台数の減少があげられます。
■機械工具商社専門コンサルタントは「一日当りの訪問件数」と「1ヶ月の訪問頻度」が営業のガイドラインと話しています。営業力を式に表すと
営業力＝訪問件数×腕(工夫)
つまり最低限の訪問件数が稼げないと営業で成果は上がらないのです。
■私たちの業界には粗利益「百万の壁」、「二百万の壁」、「三百万の壁」があります。百万の壁は営業マンの最低限のハードルです。月次二百万をコンスタントにこなし、月次粗利益三百万以上を上げればトップセールスと呼ばれます。
■コロナ禍のなか、組合員各位の業界は如何でしょうか? コロナ騒動で得意先への訪問減少、テレワーク、業務の時短など経営を取巻く環境が益々厳しくなっています。
■愚痴を言っても始まらないので視野を広くし、少し前向きに頑張りましょう。そのためには売上に貢献出来る当組合独自に取り組んでいるHRC(勉強会)に社員の皆様を参加させてください。知識と技術の取得をサポート致します。奮ってご参加ください。お待ちしております。
(専務理事 宮崎文子)



高潮対策として積み増された幸浦のテトラポッド

の感染症対策には、十分な対応策ができていない状況にあります。国の中小機構(中小企業基盤整備機構)では、事業活動を阻む想定外の自然災害の様々な危機にどう対応するか「事業継続力強化計画(簡易BCP)」の策定を推進しています。

当組合では、本年度の基本方針の一つとして「防災・減災による安全安心クリーンのまちづくり推進」を掲げており、今日的課題解決の方向に合致することから、中小機構が進めるこの計画策定に則り申請することとしました。本計画における当組合の目的としては、企業連携による災害などからの事業環境の早期復旧、迅速な情報収集・発信を図ることがあります。そのため次の取り組みを行います。

- 1、組合員企業の事業環境の整備・維持(施設設インフラ、保険など)
- 2、従業員・来街者などの人命確保(避難誘導・安全確認など)
- 3、組合員企業の事業環境の早期復旧(撤去、廃棄物置き場、インフラ、代替設備など)
- 4、情報収集・共有・発信(関連情報収集・連絡・風評対策、行政への支援要請など)

また、計画の主な項目として
○自然災害等の想定では、①震災、②風水害、高波、③感染症を挙げられています。

○災害が事業活動に与える影響では、津波・液状化による建物倒壊設備の破損または従業員の安全性への問題、風水害では商品・設備の破損等、パンデミックでは職場の休業、売上減少があります。
○地域における面的な連携としては、組合では災害時の連携を図り、避難所の運営、情報発信・共有、事業再開のための早期復旧に向けて、協力体制を整備します。
そのほか、発災の対応手順、発災の場合での人員体制整備、発災に備えた設備、機器及び装置の導入、支援機関、訓練・教育の具体化を行うこととしています。

事業の期間は、2020年11月～2023年10月の3ケ年です。
今後、組合内の各ブロック代表企業で構成するBCP特別委員会できこうした内容を検討していくことを予定しています。

三京塗料株式会社 井上二成社長に聞く

——会社の特徴は？

井上 塗料の卸売業で、自動車関連・車両関係・工作機械・厨房機器・建材関連など工業用塗料を得意分野にしています。ほかに倉庫業、かわったところでは美容業なども展開しています。

——会社の沿革は？

井上 大正2年東京神田で創業し、昭和2年杉並区高円寺に移転、戦後の昭和22年株式会社として設立しました。それからはM&Aで業容を拡大し、販路を広げてきました。

——ここ（卸団地）はかつて商會さんがあった場所では？

井上 平成10年に誠商會と合併し、三京塗料(株)横浜営業所となりました。当社は現在7拠点(本社・白河・栃木・相模原・横浜・広島・九州)あり、横浜は旧誠商會の伝統を継いで自動車関連やプラントに強いという特徴があります。ちなみに私は、誠商會出身者です。

——経営方針は？

井上 社是として「和を尊び言いわけをせず 頭をつかおう」を掲げています。これは聖徳太子の十七条憲法の精神を取り込んだもので「人間関係を尊びつつ、人と社会の快適な未来づく

りに貢献するため、より提案型の営業姿勢に徹すると共に、ユーザー及びメーカーに信頼される企業に成長すること」を目指しています。

——社長ご自身の座右の銘は？
井上 前進あるのみ！ IN G しかないですね。(笑)

——将来ビジョンは？

井上 社長に就任してまだ2年で方向性が見えないのですが、世の動きについていくため改革・改善が必要だと思っています。それには視野を広げ、ITやIoTをうまく活用する若手の発想を汲み上げ、ボトムアップを図ることが大切です。



——ご自身の趣味は？

井上 ゴルフです。栃木営業所にいた頃おぼえました。それまでは野球だったのですが。

——野球は軟式ですか？

井上 実は横浜高校で甲子園を目指したこともあったのです。チームには一学年下にロッテで活躍した愛甲猛投手がいました。その後転落事故で大怪我をし、野球は断念せざるを得なくなりました。昔話です。

社長会主催 勤労感謝祭 ライブと福引抽選で盛り上がる！

令和2年10月16日(金)社長会主催 勤労感謝祭が組合会館前駐車場でメイン会場に開催され、組合員企業から123名の従業員の皆さんが集まりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、三密対策として従来の開催を見直し、受付での体温測定、屋外での十分な換気、手指消毒などを実施しながらの開催となりました。前日の雨で心配された天気でしたが、晴れ間ものぞく天候ながら気温は上がりやすや肌寒いなかでの開催となりました。



ジャズ演奏中の「NATSUMIトリオ」の皆さん

森田社長会長(株)電商会代表 取締役)の「コロナに負けないで頑張ってほしい」との挨拶の後、木村理事長(株)カレンズ代表取締役)の勢いの良い乾杯の発声を皮切りに

にはスタートしました。

この日のライブ演奏は、バイオリン・ギター・ピアノ編成の「NATSUMIトリオ」が出演。ジャズ、洋楽などの演奏が、会場内に響き渡り、秋の夜長、ビール片手に心地よい音色に参加者は聴き入っていました。

また、今回は組合会館1階の飲食店舗3店が共同でおつまみブレイクを準備し、そのボリューム、味ともに満足の声を多数いただきました。

勤労感謝祭の後半には、今回の目玉である福引抽選が実施され、特賞には(株)ユニマツトキャラバンの長谷川支店長が当選しました。また、組合員企業様からご協賛いただいた景品を含めた30品が当選者の皆様に贈呈されました。

特賞	霧笛楼食事券2万円分	1本
1等	重慶飯店商品券1万円分	2本
2等	江戸清商品券5千円分	4本
	以下、ご協賛の景品	
	(株)大倉物産様より	
	クオカード5千円分	1本
	(株)風間様より	



ジャズライブ演奏に聴き入るテント内の参加者

籐製バスケット・クッションセット 3本

(株)オート電機様より

モスキーランタン2個・車内充電器セット 1本

(株)京浜食糧商事様より

魚沼産コシヒカリ5kg 2本

(株)プラス様より

ハニープラスシャンプルー2個 トリートメント2個 セット 3本

桔梗屋紙商事(株)様より

マスク100枚

除菌スプレー1本セット 13本

ご協賛いただいた組合員企業様におかれましては、誠にありがとうございました。

次年度も同じような形で勤労感謝祭を実施する予定です。今回参加された企業様はもちろんのこと、今回参加されなかった企業様も、次年度以降のご参加をお待ちしています。



5月定例理事会報告

○開催日時 5月13日(水)正午

○開催場所 組合会館2階会議室

○出席理事 8名(5名欠席)

○提出議案

第一号議案 令和元年度事業報告、及び収支実績について

第二号議案 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

第三号議案 その他総会提出議案について

第四号議案 第44回通常総会開催の件

第五号議案 その他報告事項

- (1)今後の維持補修設備について
- (2)今後のスケジュールについて
- (3)転貸融資の取扱い金利について
- (4)中華味楽閉店報告
- (5)新型コロナウイルス不況に対する要請書提出の件

6月定例理事会報告

○開催日時 6月10日(水)13時半

○開催場所 組合会館2階会議室

○出席理事 8名(5名欠席)

○提出議案

第一号議案 国、県、市に対する新型コロナウイルス対策支援に関する要望書提出について

第二号議案 組合で契約中の火災保険契約の見直しについて

第三号議案 立体駐車場倉庫の賃貸借契約締結

第四号議案 ウエイズインポート横浜(株)の準組合加入承諾及び加入手数料免除の件

第五号議案 中華味楽の閉店及びその事業の損益見通しの報告

第六号議案 立体駐車場劣化調査報告及び今後の対応及び立体駐車場修繕の詳細設計依頼について

第七号議案 その他報告事項

- (1)団地再整備構想策定事業の延期について

7月定例理事会報告

○開催日時 7月8日(水)正午

○開催場所 組合会館2階会議室

○出席理事 12名(1名欠席)

○提出議案

第一号議案 第1四半期業績報告

第二号議案 役員退職慰労金規程改正の件

第三号議案 中華味楽跡の賃貸契約締結の件

第四号議案 台湾企業SW社の団地内事業所撤退の件

第六号議案 その他報告事項

(1)代表者変更の件

(2)団地再整備構想策定事業の今後のスケジュールについて

(3)今後のスケジュールについて

本年度のHRC研修のひとつとして、フルハーネス型墜落制止用器具使用に係る研修を実施しました。この研修は当初予定にはありましたが高所作業には欠かせない資格として要望があり、急遽予定を組み実施したところ、組合員企業3社から11名の参加がありました。

本研修は、従来の安全ベルト型の墜落制止用器具からフルハーネス型の墜落制止用器具への変更に伴い実施される1日完結型(6時間)の研修で、研修終了後に修了証が発行されます。

HRC主催の研修では、今後も資格、又は修了証が発行される研修を必要に応じて実施していく予定です。

同社の本社は台湾にあって、平成26年9月に新設日本法人として当団地への進出を目論み、組合加入申込みがありました。当時は、新設海外法人の受入れに組合として基準がなかったため、問題化しました。前後して、シンガポール籍の企業からの新設日本法人の進出申込がありました(同企業は契約直前に進出を断念しました)。人的結合体である協同組合の場合、コミュニケーションがうまくとれるかがポイントになります。そこで、当該企業との意思疎通を図れるように、進出法人の代表者を日本人とすることなど団地の基本ルール以外に13項目の条件を付した確約書の提出により、進出を認めたという経緯があります。

(株)サインワールド・ジャパンはその後、6年間で4人の社長が交代するという異例の事態が続きましたが、このたび(株)享亨フードとの持分譲渡が成立し、この9月で土地建物を売却、当団地を撤退することにしました。なお、平成26年9月以降、海外

法人が当団地進出を希望した場合「国内での事業実績が3年以上ない場合、組合として団地進出を制限する」との理事会決議は組合内外(外部としては不動産仲介事業者)に示しました。

マルキユウ食堂オープン

今年5月、コロナ禍の影響のため組合会館1階飲食店舗・中華味楽の閉店。組合では、後継入居飲食事業者を関係先へ出店募集していたところ、(株)武居商店から応募があり、その後7月の理事会で出店承認となりました。

(株)武居商店は、鳥浜町に本社機能を持つ創業150年超の老舗企業で、主に「たれ」やドレッシング類の調味料を製造販売する食品メーカーです。数年前からMDCアウトレットセルにも出店してきて、その縁で今回の飲食店としての出店となったものです。

店舗名は、同社の屋号名を冠した「マルキユウ食堂」で8月17日にオープンしました。自ら定食屋を標榜し、得意のたれを生かした牛鍋定食、焼き肉定食、カレーライスのご飯ものに、中華のジャージャー麺と絞り込んだメニュー構成でスタートしました。口コミで徐々に固定客が増えつつありますが、組合の新しい福利厚生サービスとして期待されています。